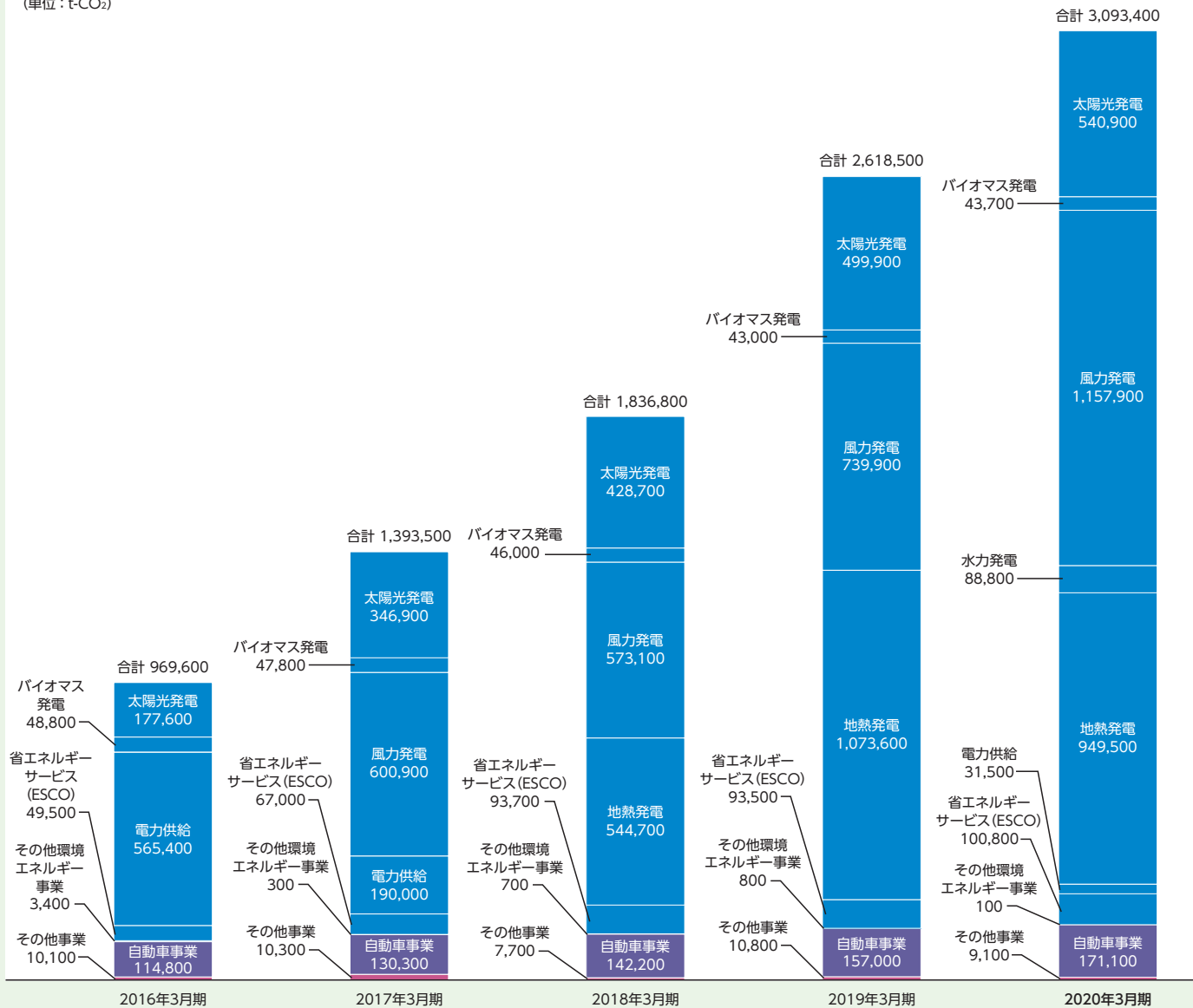


# 環境パフォーマンスデータ

## ▶ オリックスグループCO<sub>2</sub>排出削減貢献量

(単位：t-CO<sub>2</sub>)



### ■ 環境エネルギー事業を通じた排出削減貢献量

- ・太陽光発電  
メガソーラー、屋根設置型太陽光発電所の売電量から算定した削減量
- ・バイオマス発電  
木質チップを専焼とした発電所の売電量から算定した削減量
- ・風力発電  
風力発電所の売電量から算定した削減量
- ・水力発電  
水力発電所の売電量から算定した削減量
- ・地熱発電  
地熱発電所の売電量から算定した削減量
- ・電力供給  
海外や他社で削減されたCO<sub>2</sub>排出量の権利を取得し、自らの排出量に組み込むことにより、CO<sub>2</sub>排出の影響度を低減しています
- ・省エネルギーサービス(ESCO)  
ESCOサービスの提供によるお客さまのエネルギー使用量の減少に伴う削減量

### ■ 自動車事業を通じた排出削減貢献量

### ■ その他事業を通じた排出削減貢献量

### 算定範囲・方法

#### [算定対象期間]

各年度4月1日～3月31日

#### [算定範囲]

オリックスグループ国内外グループ会社(持分法適用会社を含む)

#### [基本的な考え方]

- オリックスグループの事業活動により、お客さまおよび社会全体において削減された活動量にCO<sub>2</sub>排出係数を乗じて算定。
- 日本の事業における削減貢献量算定にあたっては、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度(地球温暖化対策の推進に関する法律)」で「代替値」として公表されている排出係数を基本的に使用。

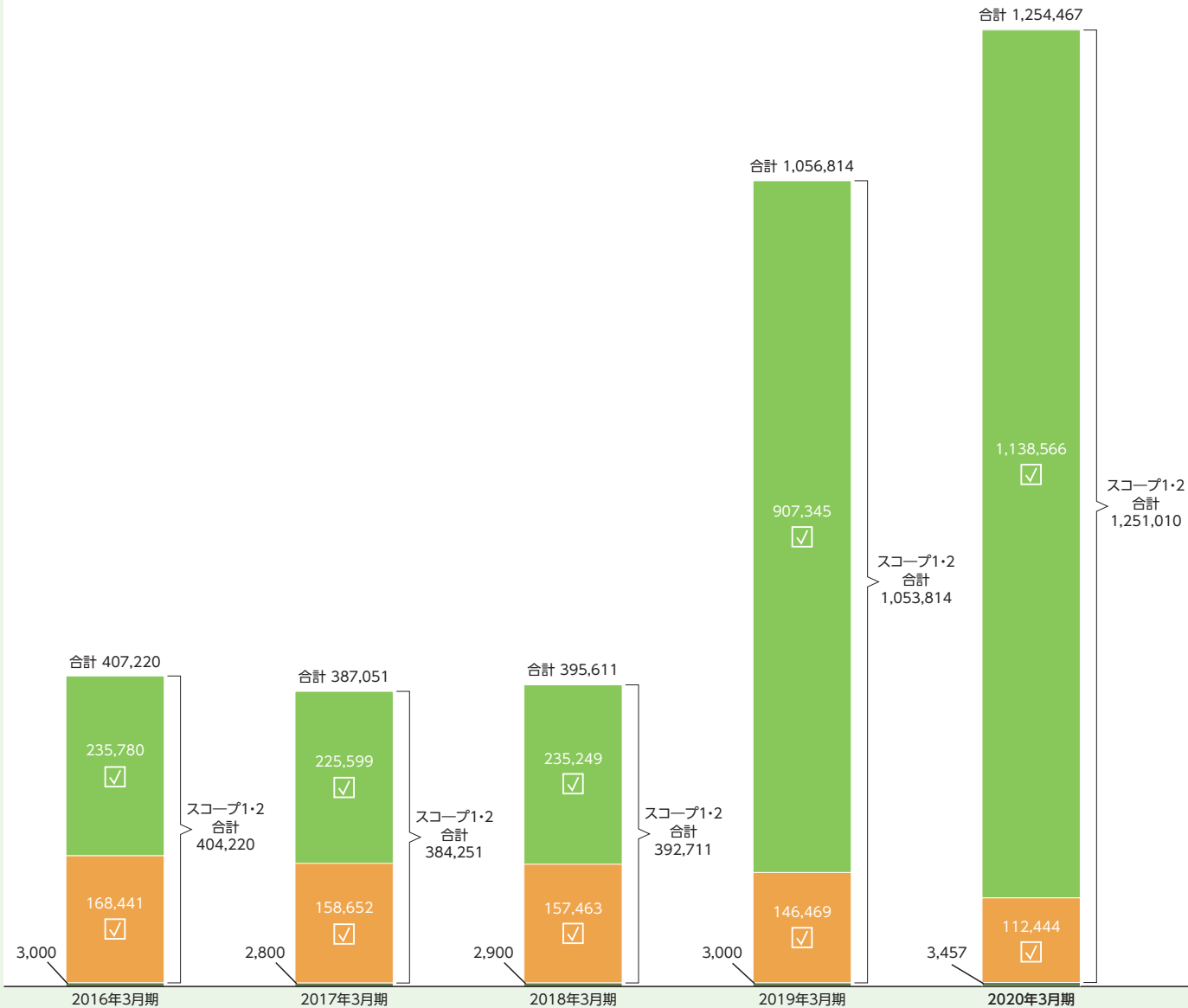
#### 排出係数

2016年3月期：0.000579t-CO<sub>2</sub>/kWh  
 2017年3月期：0.000587t-CO<sub>2</sub>/kWh  
 2018年3月期：0.000512t-CO<sub>2</sub>/kWh  
 2019年3月期：0.000500t-CO<sub>2</sub>/kWh  
 2020年3月期：0.000488t-CO<sub>2</sub>/kWh

- 海外の事業における削減貢献量算定にあたっては、それぞれの事業実施国における排出係数を基本的に使用。
- オリックスグループで取得後、対象期間中に償却されたCO<sub>2</sub>削減クレジット量も加えて算定。
- 持分法適用会社における削減貢献量は、持分に応じて算定。

## ▶ オリックスグループCO<sub>2</sub>排出量

(単位：t-CO<sub>2</sub>)



- スコープ1(直接排出量) 
  - 重油、軽油、ガソリン、都市ガス、石炭、バイオマス、廃棄物などの燃料燃焼
- スコープ2(エネルギー起源間接排出量) 
  - 電気、熱(蒸気、冷水、温水)の使用
- スコープ3(その他の間接排出量)
  - 輸送・配送(下流)
  - (オリックス・レンテックのレンタル機器の輸送に関わる部分)

第三者保証の該当箇所です

### 算定範囲・方法

#### [算定対象期間]

各年度4月1日～3月31日

#### [算定範囲]

オリックスグループ国内連結会社(ただし、プリンシパル・インベストメント事業の投資先会社は除く)

#### [算定方法]

- CO<sub>2</sub>排出量は、「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令」に基づいて算定。
- 環境情報管理に関する社内規定に基づき、CO<sub>2</sub>排出量には、非エネルギー起源CO<sub>2</sub>、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)を含む。
- 電気の使用に伴う排出係数は、温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による電気事業者別の実排出係数を使用。

#### \* 石炭・バイオマス混焼発電所について

オリックスでは、福島県相馬市の相馬石炭・バイオマス発電所(設備容量112MW)、福岡県北九州市のひびき灘石炭・バイオマス発電所(設備容量112MW)の2カ所で石炭・バイオマス混焼発電所を運営しています。(相馬は2018年4月に、ひびき灘は2018年12月に稼働開始)  
2020年3月期の両発電所のCO<sub>2</sub>排出量は合計で939,163t-CO<sub>2</sub>です。両発電所はバイオマス燃料を混焼(30%超)することで、同等クラスの石炭火力発電所と比べCO<sub>2</sub>排出量の低減を図っています。

#### 第三者保証

直接排出量およびエネルギー起源間接排出量の数値は、PwCサステナビリティ合同会社の第三者保証を受けています。

▶▶▶ [第三者保証](#)

## 人材関連データ

### ▶ 社員構成

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
社員数 (名)	33,333	34,835	31,890	32,411	31,233
セグメント別 (名)					
法人営業・メンテナンスリース	4,861	4,980	5,104	5,384	5,637
不動産	9,525	9,911	10,559	9,894	8,599
事業投資・コンセッション	5,768	6,516	2,884	3,291	3,081
環境エネルギー	726	569	557	620	592
保険	1,549	1,795	2,016	2,336	2,363
銀行・クレジット	908	947	1,031	1,066	1,103
輸送機器	76	89	114	127	149
ORIX USA	1,264	1,202	1,023	1,181	1,433
ORIX Europe	1,275	1,290	1,329	1,357	1,301
アジア・豪州	5,550	5,701	5,347	5,107	4,892
コーポレート部門	1,831	1,835	1,926	2,048	2,083
地域別 (名)					
日本	25,168	26,553	24,077	24,639	23,458
日本以外*	8,165	8,282	7,813	7,772	7,775
男女別 (名)					
男性	23,160	23,731	20,443	20,491	19,630
女性	10,173	11,104	11,447	11,920	11,603

\*輸送機器、ORIX USA、ORIX Europe、アジア・豪州の4セグメントの合計

### ▶ 役職員構成 (2020年3月期)

#### 平均年齢

全体	43.4歳
男性	44.9歳
女性	41.3歳

#### 平均勤続年数

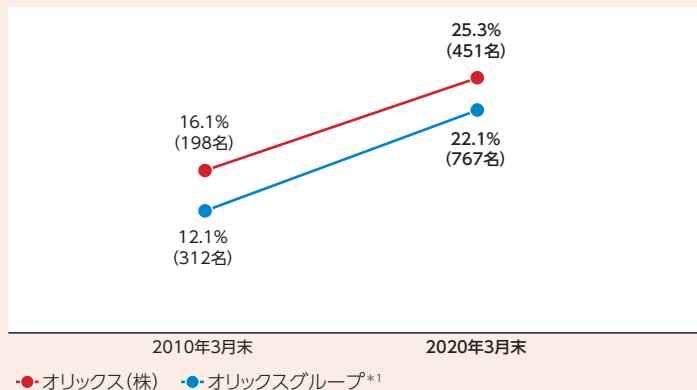
全体	15.3年
男性	15.5年
女性	15.0年

#### 年次有給休暇取得

有給取得日数	15.1日
取得率	80.6%

\*「平均年齢」「平均勤続年数」「年次有給休暇取得」はオリックス単体(本籍ベース)。役員を除く。

## ▶ 女性管理職



- \*1 オリックスグループ10社(オリックス、オリックス・レンテック、オリックス自動車、オリックス・クレジット、オリックス不動産、オリックス・システム、オリックス銀行、オリックス生命保険、オリックス環境、オリックス債権回収)。2020年3月末の10社合計人数は10,717名、全社員数の34%。  
 \*2 本グラフの%は管理職に占める女性管理職の割合。  
 \*3 管理職とは、同一事業所において、課長のほかに、呼称、構成員に関係なく、その職務の内容および責任の程度が「課長級」に相当する者。(ただし、一番下の職階ではない)

## ▶ 外部からの評価

### 経済産業省「新・ダイバーシティ経営企業100選」認定

2020年3月16日、オリックスは「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれました。「新・ダイバーシティ経営企業100選」は、多様な人材を活用して成果を挙げ、ダイバーシティ推進を経営に結びつけている企業が認定を受けます。



### 経済産業省「健康経営優良法人2020」認定

2020年3月2日、オリックスは「健康経営優良法人2020」の「大規模法人部門」に選ばれました。「健康経営優良法人」は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業が認定を受けます。2017年に初めて実施され、オリックスは4年連続で「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されました。



## ▶ 採用者数・比率

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
採用人数合計	710名	783名	741名
うち新卒採用／男性	91名	107名	123名
うち新卒採用／女性	123名	144名	130名
うちキャリア採用／男性	248名	246名	276名
うちキャリア採用／女性	248名	286名	212名
女性採用比率	52%	55%	46%
キャリア採用比率	70%	68%	66%

\*対象は、オリックスグループ10社(オリックス、オリックス・レンテック、オリックス自動車、オリックス・クレジット、オリックス不動産、オリックス・システム、オリックス銀行、オリックス生命保険、オリックス環境、オリックス債権回収)

### 経済産業省・東京証券取引所「準なでしこ銘柄」認定

2020年3月3日、オリックスは「準なでしこ銘柄」に選ばれました。「なでしこ銘柄」は、全上場企業約3,600社の中から、女性活躍推進に積極的に取り組む企業を経済産業省と東京証券取引所が共同で認定しており、それに準ずる企業に「準なでしこ銘柄」の称号が与えられます。オリックスは2年連続で「準なでしこ銘柄」に選ばれました。

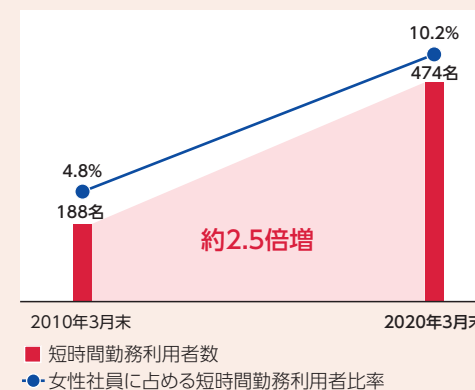
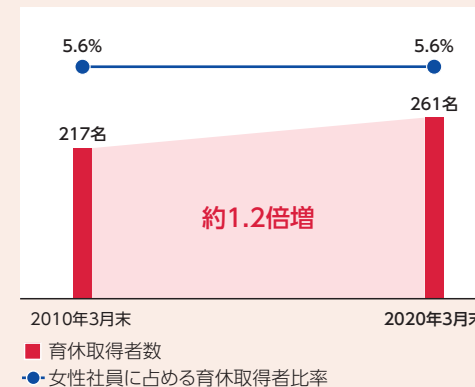
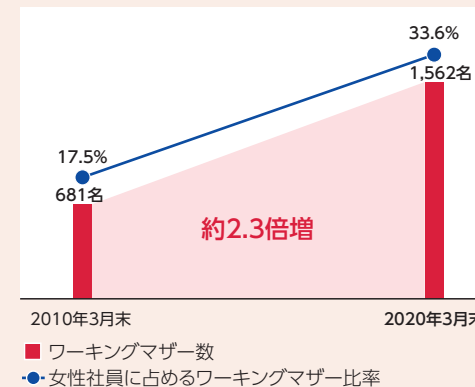


### 厚生労働省「えるぼし」認定 最高位取得

2019年5月27日、オリックスは女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし」の最高位である3つ星(3段階目)を取得しました。「えるぼし」は女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が優良な企業が認定され、3つ星は「採用」「継続就業」「労働時間」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の5つの基準をすべて満たしている企業が選ばれます。



## ▶ 出産・育児関連制度の利用状況



\*対象は、オリックスグループ10社(オリックス、オリックス・レンテック、オリックス自動車、オリックス・クレジット、オリックス不動産、オリックス・システム、オリックス銀行、オリックス生命保険、オリックス環境、オリックス債権回収)の女性正社員。

## ガバナンス関連データ

### ▶ 取締役会の開催回数、出席率および構成

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
取締役会 開催回数 (回)	8	8	8	8	9
取締役会 出席率	97%	98%	98%	97%	96%
取締役人数 (名)	13	12	12	12	12
うち社外取締役人数 (名)	6	6	6	6	6
社外取締役比率	46%	50%	50%	50%	50%
うち女性取締役人数 (名)	1	1	1	2	2
女性取締役比率	8%	8%	8%	17%	17%

### ▶ 委員会の開催回数および出席率

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
指名委員会 開催回数 (回)	3	3	3	3	5
指名委員会 出席率	89%	94%	94%	94%	95%
監査委員会 開催回数 (回)	10	8	9	8	8
監査委員会 出席率	98%	100%	94%	100%	96%
報酬委員会 開催回数 (回)	5	3	5	4	6
報酬委員会 出席率	92%	93%	100%	100%	100%

### ▶ 役員報酬 (2020年3月期)

区分	固定報酬		業績連動型報酬		株式報酬		支給額合計 (百万円)
	支給人員(名)	支給額(百万円)	支給人員(名)	支給額(百万円)	支給人員(名)	支給額(百万円)	
取締役 ( )は社外取締役	8 (8)	94 (94)	—	—	8 (8)	14 (14)	109 (109)
執行役およびグループ執行役員	34	655	34	280	34	465	1,401
計	42	750	34	280	42	479	1,510

(注1) 上記支給人員、支給額には、当期中に退任した取締役2名、執行役5名(取締役と執行役の兼務者を含む)、グループ執行役員4名が含まれています。当期末の人数は取締役12名(社外取締役6名)、執行役20名(取締役と執行役の兼務者を含む)、グループ執行役員5名です。

(注2) 当社は、執行役を兼務する取締役に對しては取締役としての報酬は支給していないため、取締役と執行役の兼務者8名の報酬は、執行役の欄に総額を記載しています。

(注3) 上記一覧表の業績連動型報酬(年次賞与)に係る指標の目標および実績については以下のとおりです。

- 全社業績指標：当社の中期的な経営目標達成に向けて報酬委員会が定める連結当期純利益に係る年間成長率のマイルストーンを目標としており、2020年3月期の目標達成度は90%です。
- 部門業績指標：全社業績目標を基礎として各担当部門の業績目標を定めており、執行役25名における各担当部門業績の2020年3月期の目標達成度(定性面も勘案した総合評価)は、0%～135%(中央値は90%)です。

(注4) 上記一覧表の株式報酬は、当期分として付与されることが確定したポイント数に、信託が当社株式を取得した際の時価(1株当たり1,594.7円)を乗じた額を支給額として記載しています。なお、当期に実際に支給した株式報酬の総額は、当期中に退任した取締役2名および執行役4名(取締役と執行役の兼務者を含む)、前期までに退任した執行役2名に対して572百万円です。

(注5) 当期中にはストックオプションとしての新株予約権の付与はありません。

(注6) 金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 賛同しているイニシアチブ

オリックスグループまたはグループ会社で賛同しているイニシアチブは次のとおりです。(2020年10月現在)

名称	参加・加盟会社(参加・加盟年度)
国連グローバル・コンパクト	オリックスグループ(2014)
PRI(責任投資原則)	ロベコ(2011)
UNEP FI(国連環境計画・金融イニシアチブ)	ロベコ、オリックス・アセットマネジメント(2020)
気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)	ロベコ、オリックス・アセットマネジメント(2019)、オリックスグループ(2020)
21世紀金融行動原則	オリックス、オリックス銀行(2011)、オリックス・アセットマネジメント(2019)
日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)	オリックスグループ(2014)
関西SDGsプラットフォーム	オリックス・ファシリティーズ(2015)、オリックス野球クラブ、オリックス、オリックス銀行(2019)
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム	オリックス・ファシリティーズ(2015)

## ESGインデックスへの組み入れ

オリックスは、2020年10月現在、次のESGインデックスの構成銘柄に組み入れられています。

- ・MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ・MSCI日本株女性活躍指数(WIN)
- ・S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数